

学校概要

創立 28 周年	学校長 岩本 悦子	副校長 山内 容子	学期 2 学期制	児童・生徒数 741 人
学級数 一般級: 22 個別支援級: 3			主な関係校: 茅ヶ崎中学校	

学校教育目標

「茅ヶ崎のまちに学び自分らしさを創る子」を育てます。
 ○自ら問題を発見し、解決する過程を深める子を育てます。(知)「やってみよう」
 ○地域の人や自然とのふれ合いを大切に、より豊かな心を培う人間関係を育てます。(徳)「ふれあおう」
 ○たくましく健康な体をつくり、進んで運動する態度を育てます。(体)「きたえよう」
 ○地域と社会の変化に柔軟に対応し、自分から豊かに表現できる子を育てます。(公・開)「あらわそう」

学校の特徴

本校は港北ニュータウンの中央部に位置し、近くに茅ヶ崎公園やせせらぎ公園などの水辺が多く、緑豊かな自然に恵まれた閑静な住宅地にある。地域、保護者の方は、学校を大切に協力し協力を惜しまない。町内会長を中心に特色ある学校づくりのために理解と支援をしてください。一方、区外・市外からの転入児童が多い。児童は明るく素直である。横浜市学力・学習状況調査は全体的に横浜市の平均を上回っている。また、地域のスポーツも盛んでサッカー、野球、剣道、一輪車などに参加している児童が多い。習い事や塾に通っている児童が多い。

学校経営中期取組目標

○学校教育目標を実現するために、活力と魅力あふれる学校づくりに努めます。
 ・規範意識と自己統制力を身につけるとともに、「自尊感情」「自己有用感」を感じることができる子どもを育成します。
 ・教師力・授業力の育成と向上を図ります。
 ・地域の人々・自然・施設に関わる「体験学習」を通して地域協働教育の充実を図ります。
 ・校舎内外の美化と安全確保に努めます。

小中一貫教育の取組

茅ヶ崎中学校	ブロック	茅ヶ崎中学校	茅ヶ崎東小学校	茅ヶ崎台小学校	茅ヶ崎小学校
9年間で育てる子ども像	『「ち」いきど「が」っこうが「さ」さえあい「き」ずいていく』ブロックを合い言葉に、小中学校の教職員が連携・協働して子どもの成長の様子や情報をきめ細かく共有し授業改善を図りながら、爽やかに思いやりがあり向上心のある子どもに育てていく				
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校と子どもの成長の様子や課題などの情報を共有し授業改善を図るとともに、児童理解力の向上や問題行動の未然防止に努める。 ・小中のスムーズな接続に向け、授業参観など中学校行事への参観や中学のクラブ部員との交流などを取り入れる。 				

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	学習のねらいを明確にし、学習の質を高め、「分かる楽しい授業」の実現に努める。基礎・基本の定着を図るとともに学習の道筋を大切にします。	①交換授業や少人数授業や特別支援学習など児童の実態に即した指導方法を効果的に取り入れ基礎・基本の定着を目指す。②重点研の研究テーマの実現に向け、外部講師を招き、学習のねらいや指導方法や内容について検討し、主体的に問題解決しようとする子どもを育成するとともに、重点研究で学んだことを日々の授業に生かしていく。
豊かな心	道徳の時間はもとより、あらゆる教育活動を通して、自他を大切にできる心情や態度を育てるとともに、自他の違いを認め合える子どもを育てる。	①子どもの実態をもとに、「私たちの道徳」などの教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年間1回以上実施する。②縦割り活動等による異学年交流や幼保小交流を通して、相手の思いやる心や自分への気付きや自信を構築する。③人権教育に視点を置いたテーマ等を設定してその具現化を図る。
健やかな体	基本的な生活習慣の中で、「良い姿勢」に重点をかけ全校で取り組む。一校一実践運動等を通し、たくましく健康な体づくりを目指す。食育の充実を図る。	①学校保健委員会などの活動を通して姿勢と健康の関係を理解し、良い姿勢で学習しようとする意識を高める。②なわとびタイム・ランニングタイム等を通して、健康な体づくりと体力の向上を目指す。③栄養教諭、養護教諭と連携しながら食育に関する授業等を行う。
児童指導	挨拶等の礼儀や規範意識や自己統制力を身に付けるよう、学年に応じた指導を行う。いじめについては早期発見・対応に努め、対応方針を確立する。	①職員打ち合わせ内で特別な支援を要する児童の状況と指導方法を共通理解する。②専門家による児童の実態に応じた非行防止教室を実施する。③夏休み前、冬休み前の年2回、児童実態調査を行い分析の結果を学年間と児童支援専門間で共通理解する。指導が必要な場合は個人面談を活用する。
安全管理	安全で安心できる学校生活となるよう、校内研修を実施し、危機管理対応力を向上させる。組織的・計画的に校舎内外の美化と安全確認を実施していく。	①火災・地震の避難訓練に加え、不審者対応訓練や集団下校訓練等の校内訓練・研修を計画的に実施する。②皆が使う場所は「整理・整頓しよう」「清掃しよう」という勤労感を育てる。③地震などの災害に備え、教職員の協働により校舎内外の整理・整頓・清潔を心掛け、学校環境を整備する。
地域連携	地域との連携を深め、本校の恵まれた教育資源(自然的・社会的・人的)を活かし、直接体験を教育課程に位置づけ地域協働教育の充実を図る。	①「生活科」と「社会科」を核として、茅ヶ崎公園や自然生態園を大切にしている方々の思いに触れる学習を取り入れたり、茅ヶ崎保育園と交流したりなどの体験を通して「茅ヶ崎のまちに学ぶ」の具現化を図る。②学校ホームページの充実等によって学校情報を発信する。
人材育成・組織運営	「学年担任」としての意識を高める。会議の重要性、効率性を追求する。メンバーチームが主体的に活動し、学習指導や児童指導の実践力向上を図る。	①交換授業・教科担任制など学年の実態に応じて取組方法を工夫する。②2年次の教員は道徳の授業研究会を実施する。③会議の目的を明確にし、タイムマネジメント意識をもつ。